12 運用のポイント

１２－１．初めてＡｕｔｏＶｅｎｄを使用される場合

1-1 設定値を確認して下さい。

・［各種メンテ］で以下の項目を設定して下さい。

［担当者メンテ］－－－御社のスタッフを登録して下さい。
［保険会社メンテ］－－－御社と取引されている保険会社を登録して下さい。
［陸運局メンテ］－－－御社でよく使われる陸運局の並びを若い数値にして下さい。
［車検案内金額メンテ］－－－車検時の代行料・印紙代を設定して下さい。
［社名・電話番号設定］－－－御社名・電話番号を設定して下さい。
［住所設定］－－－御社の郵便番号・住所名を設定して下さい。
［顧客車両メンテ用自社情報設定］－－－御社名・所在地を設定して下さい。
［振込先設定］－－－御社への振込口座を設定して下さい。
［郵便番号辞書設定］－－－初期抽出都道府県を良く使用される都道府県に設定して下さい。
［右端上段タイトル設定］－－－御社名を設定して下さい。
［リスト打始位置調整］－－－専用用紙で印刷する帳票を始めて印刷する場合は必ず A4 白紙で試し印刷をしてずれを調整して下さい。
［自動車税メンテ］－－－自動車税は自治体によって異なる場合があります。確認して異なる金額があった場合は変更して下さい。
［自賠責保険メンテ］－－－自賠責保険金額の設定値を確認して、異なる金額があった場合は変更して下さい。
［社名・振込先印刷設定］－－－専用用紙に社名・振込先を印刷するか否か設定して下さい。

1-2 お客様情報と仕入車両情報の登録を行って下さい。

・お客様情報の登録は
［顧客管理］・［入力関係］・［顧客マスタメンテ］で登録できます。
・お客様の車両情報の登録は
［顧客管理］・［入力関係］・［顧客マスタメンテ］からの登録と［顧客管理］・［入力関係］・［顧客車両メンテ］で登録できます。
・仕入車両情報の登録は
［車両管理］・［入力関係］・［仕入車両メンテ］で登録できます。

１２－２．車両を仕入れた場合は

2-1［車両管理］・［入力関係］・［仕入車両メンテ］で仕入れた車両情報を登録します。

登録済車両と同型式の車両を登録する場合は登録済車両を［照会］で表示した後、［新規］をクリックすると画面をクリアするか聞いてきますので［いいえ］を選択して下さい。
照会で表示した情報がそのまま画面に残ったまま入力ができるので変更する項目の入力だけで新規登録できます。
又、［売上移動済車両データ］の参照も同様にできます。
入力内容は［車両管理］・［出力関係］・［仕入車両情報印刷］で仕入れた車両情報を印刷できます。
入力内容は［車販管理］・［入力関係］・［車販見積入力］等の販売車両入力で参照できます。

2-2 デジタルカメラ等で撮影した仕入車両の画像データがある場合は画像登録を行って下さい。

仕入車両の画像データを登録する事で画像と仕入車両データが関連付けられます。
関連付けた仕入車両データは車販入力時、ＡｕｔｏＳｈｏｗ、ＡｕｔｏＨｔｍｌ（別売）等で有効に利用する事ができます。
仕入車両の画像データを登録するにはＡｕｔｏＵｔｌ使用方法を参照して下さい。

１２－３．車販入力をする場合は

3-1 販売車両設定は仕入車両を参照して下さい。

仕入車両が未入力の場合は販売車両の設定画面から［仕入車両メンテ］で入力できます。
未仕入車両で見積を作成する場合は［車種選択］又は手入力で対応し、実際に仕入れた際に［仕入車両メンテ］で登録し、［車販見積変更］・［車販注文変更］で販売車両設定の内容をを仕入車両参照からのデータに変更して下さい。
仕入車両を参照する事で車販データと仕入車両情報が関連付けられます。
顧客情報は［顧客マスタ］から参照して下さい。

顧客マスタに未入力のお客様（一見のお客様等）の場合は［車販その他入力］の画面から
［顧客マスタメンテ］で入力できるので顧客情報を登録後、参照して下さい。
顧客マスタを参照する事で車販データと顧客マスタが関連付けられます。

3-2 ご注文を頂いた後は［車販売上入力］を行って下さい。
入力後に［売上管理］・［車販売上入金照会］の［稼動データ］・［売上日付］の集計対象になります。

3-3 ご入金を確認した後は［車販入金入力］を行って下さい。
入力後に［売上管理］・［車販売上入金照会］の［稼動データ］・［入金完了日付］の集計対象になります。

3-4 納車後は［車両管理］・［入力関係］・［売上済車両移動］で仕入車両情報を売上済情報に移動して下さい。
移動後に［顧客管理］・［入力関係］・［顧客マスタメンテ］の［車輌情報］で［新規追加・売上済車輌参照］で選択する事で顧客車輌情報に追加できます。
移動後に［売上管理］・［仕入票印刷］が印刷できます。

１２－４．整備関係の入力（［販売管理］・［入力関係］）をする場合は

4-1 顧客情報は［顧客マスタ］から参照して下さい。
顧客マスタに未入力のお客様（一見のお客様等）の場合は［見積入力］の画面から
［顧客マスタメンテ］で入力できるので顧客情報を登録後、参照して下さい。
顧客マスタを参照する事で見積データと顧客マスタが関連付けられます。
顧客マスタを参照する事で顧客車両の参照ができます。
値引きは明細でも入力できますが、［値引変更］で行う方が便利です。

4-2 注文後は［受注入力］を行って下さい。
入力後は売上入力の対象データになります。

4-3 売上を立てた場合は［売上入力］を行って下さい。
入力後は請求書・納品書の印刷対象になります。
入力後に［売上管理］・［販売売上入金照会］の［稼動データ］・［売上日付］の集計対象になります。

4-4 ご入金を確認した場合は［入金入力］を行って下さい。
入力後に［売上管理］・［販売売上入金照会］の［稼動データ］・［入金完了日］の集計対象になります。

１２－５．整備関係のマスタを登録する場合は

5-1 分類２・分類３・明細印刷詳細設定を確認して下さい。
分類３は必要に応じて設定して下さい。

5-2 見積マスタの登録について
［販売管理］・［メンテナンス］・［見積マスタメンテ］で登録できます。
又、販売管理の明細入力を行った場合にも存在しない見積マスタは自動的に登録されます。
分類４は必要に応じて設定して下さい。

5-3 定型の明細は定型明細メンテに登録して下さい。
車検等の明細はある程度決った構成になる場合が多くあります。
そういった明細の構成は定型明細メンテに登録しておく事で見積明細入力時に定型明細を参照する事で入力時間を短縮する事ができます。

１２－６．月次処理について

月次処理は必ずしも行う必要はありませんが、行った場合は次のようなメリットがあります。

処理が完了した古いデータ（販売管理・車販管理）が一覧画面に表示されなくなります。
［顧客管理］・［入力関係］・［顧客マスタメンテ］で月次処理で締められた販売管理のデータ車販管理のデータがそれぞれ［取引履歴］［車販取引］で照会できるようになります。
稼動年月が実際の年月に近づきますので売上日付等の入力の際に過去の入力可能日付の範囲が狭まり日付の入力ミスが少なくなります。

１２－７．輸出車両の車販データを作成する場合

輸出の場合は消費税等がかかりません。車販データ作成前に［各種メンテ］の［消費税メンテ］で税率を全て０にしてから車販データを作成して下さい。輸出の車販データを作成終了後［消費税メンテ］で税率を元の値に戻して下さい。